

全ての女性が輝く社会づくり

女性の「暮らしの質」向上検討会

ヒアリング資料

150203
設計事務所ゴンドラ
小林 純子

公共的トイレの役割

- ① 誰もが外出先で、安心して清潔なトイレを使える。
外出の行動を自由にし、まちでの居心地をよくする。
- ② 災害時でもいつでも、誰もが利用でき、いつでも
安心して暮らすことができる。
- ③ 外出時、ストレスの中で心がリフレッシュできる



公共トイレに対する意識

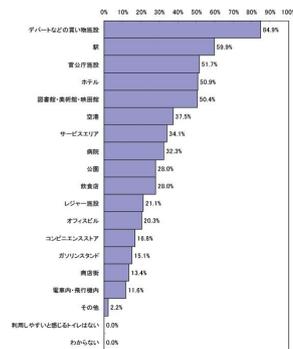
・ 外出時に利用しやすいと感じるトイレはどのような場所・施設にあるトイレですか？(複数回答)

(全体N=232)

東京都によるインターネットアンケート調査

実施時期: 2006年5月ごろ

- 順位 1. 商業施設
2. 駅
3. 官公庁施設



公共トイレと女性の視点

現在の公共トイレで求められる女性の視点

- ①安全か
配置・人の目
- ②清潔か
良好な清掃・汚損がない・くさくない
- ③社会的顔が保持できるか
化粧・見繕いの場 (パウダーコーナー)
- ④生活者として子育てや介助のしやすさがあるか
ファミリーコーナー・授乳・高齢者介助
- ⑤流行や感度の高さに対応しているか
- ⑥男性と共同で参画できるか
- ⑦街でのもうひとつの休息の場になるか

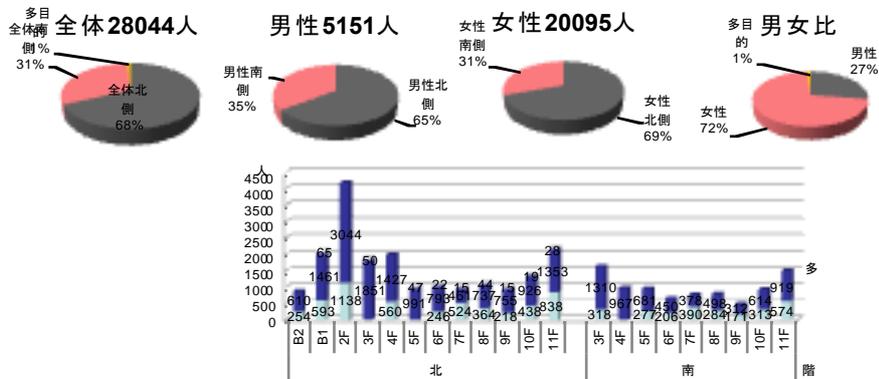
課題

1. トイレ改善促進に格差があること
 - a. 男女格差 (便器数一般的には女性が多く待っている)
 - b. 地域格差 (地方のトイレは総じて改善が遅い)
 - c. 年代格差 (高齢者、子供等への配慮が不足)
 - e. 施設間格差 (学校、病院、公衆トイレ、自然公園等)
 - f. 障害を持った人との格差 (全体的には促進はしているものの視覚障害者、聴覚障害者等への配慮は遅れている)
2. 安全性の確保
有料化・管理者の巡回強化・複合施設化等の検討
3. 快適さの持続
清掃の内容、体制、清掃者教育等の強化
4. トイレ運営管理者の普及
トイレを企画、設計、清掃、利用者対応まで総合管理運営することは、持続的に快適であるために重要である。

事例

1. トイレ改善促進に格差があること
 - a. 男女格差 (便器数一般的には女性が多く待っている)

T百貨店の例 2階のトイレは女子が常時10人以上待っているが男子は待っていない・・・理由①便器数不足 ②利用者数にあった便器数が配置されていない



e.施設毎の改善の動きと格差

1)商業施設

企業側は7割の女性客に対して、店内での滞在時間を増やし購買力に繋げる狙いで美化に力を入れている。

利用者は安心して清潔なトイレが常に用意され、また、ニーズに細やかな対応があると評価が高い。

その評価は施設間競争を生み、結果、設計や清掃管理まで快適化とその持続のための改善活動が実施されている。

改修前



JR博多シティ アミュプラザ博多

16カ所のトイレで利用者の様々なニーズに応じて、まちの信頼されるトイレなることを目指す。

老若男女・障害を持った人・子ども連れ・女性
基本的快適さ+αの快適さ・楽しさ・きめの細かいニーズ

コンセプト

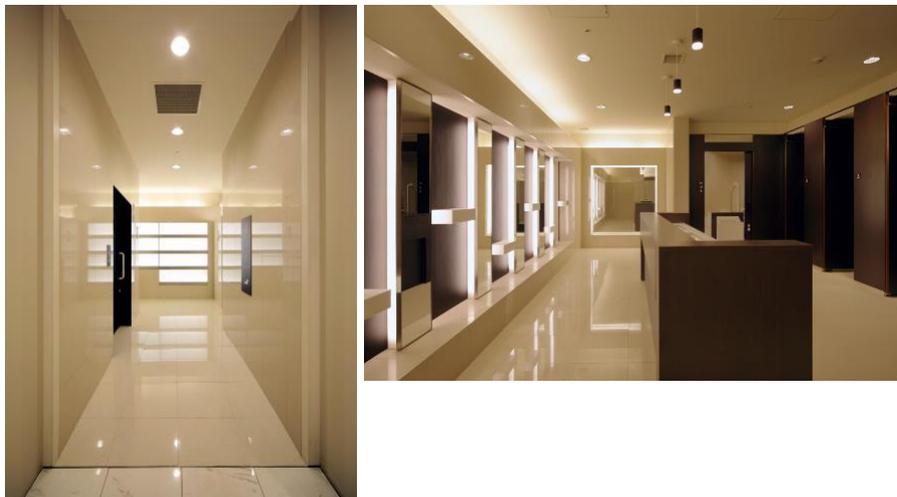
- ①ホスピタリーのあるトイレ
ユニバーサルデザインもう1つの休息コーナー
- ②時代を先取りし、かつうわべだけではない真の感動を与えるトイレ
シンプルなデザイン
ゆったりしたスペース
- ③メンテナンス性を考えたトイレ
メンテナンス性のよい建材の採用
水はねの少ない手洗い
- ④ロケーションを生かす
窓を生かす

8F 展望

話題性



3F 混雑 待たせないトイレ



ユニバーサルデザイン 誰もが買い物等を楽しめる

各階に1箇所多機能トイレ
各トイレ 広めのトイレ・手すり



ファミリーコーナー 家族連れに対応 乳幼児の排泄や授乳及び休息に対応
全館に5箇所



6Fファミリーコーナー

8Fファミリーコーナー

女性の身繕いと化粧 各トイレに設置 特別な化粧室として 5箇所
3F (下部写真)





渋谷ヒカリエ 2011年

ネーミングが付いている
EVホールと一体に考えられている

待ち合わせしやすい。待っているのが苦にならない
わかりやすい
行きやすい



若い女性がターゲット・ホールと一体



子どもコーナー・授乳コーナー 鏡・TVが付いている



パウダーコーナーの中心にショーウィンドー

酸素吸入コーナー



休息コーナー・ついでに簡易な休息ではなく休息が目的になっている・サロン

カラフルタウン岐阜

(トヨタオートモールクリエイト)

こども広場

(こどもトイレ・オムツ替え・遊び場・授乳・休息)



2. 提案



①待合休憩ベンチ
クッション製の円形シートの高さを揃えて配置し緑意のある遊び場としても大人の休憩にも利用できる。

②店舗用ベビーカー置き場
緑意の下部にあるため200kg程度の重さがそのまま転落から入る心配がない。

店内案内をしながらトイレの安全を確保している。

③オムツ替えコーナー
ゆったりとしたオムツ替えスペースで父親、祖父などでもオムツ替えに追加できる。

④ベンチ
休憩のほかベンチに置掛け父親や祖父なども授乳をおこなえる。

⑤プレイルーム
2つの円形ベンチの間にカーペット敷きの一段上がったプレイルームを設け、円形ベンチの背もたれ部には円形の穴が開いており、跳んだり走り回ったりして遊ぶことができる。オムツ替えの場など、上の子どもがいる場合でも安心してここで遊ばせておくことができる。

⑥車型の幼児用トイレ
自走車が展示されている際のトイレなので車型の幼児用大便ブースをつかった。車内の背座にはベンチが設置されており、親は子どもの排泄の様子を見守ることができる。シャッシュボード部には横握ハンドルや洗浄ボタン、紙巻容器が取り付けられている。親を乗せて運転ごっこをしながらの排泄が楽しめる。

⑦幼児用小便器
訓練トレーニング中の男子の小便器。

⑧授乳室
カーテンで覆われた個室は男性立ち入り禁止なので安心して授乳することができる。またベビーカーのまま個室に入れる。

⑧授乳コーナー
授乳用のシンク、父親、祖父などでもここで授乳できる。授乳の際の切り忘れ防止の安全策が備わっている。



2) 交通機関（JR、メトロ、高速道路等）

民営化による利用者へのサービスの見直しの実施や
施設自体の商業化（滞在時間長期化による）が
改善の促進に寄与する結果となっている

改修前



東京メトロ 2004年民営化に伴い、トイレの改革開始

適切な便器数の見直し
空間の狭さへの対応
臭気対策



東京メトロ
銀座線三越前駅



空港

ユニバーサルデザインの進化 トイレの標準化

神戸国際空港



だれにでも分かるサイン

中部国際空港



高速道路

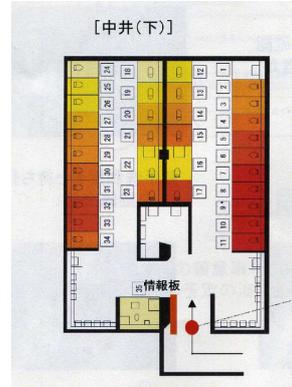
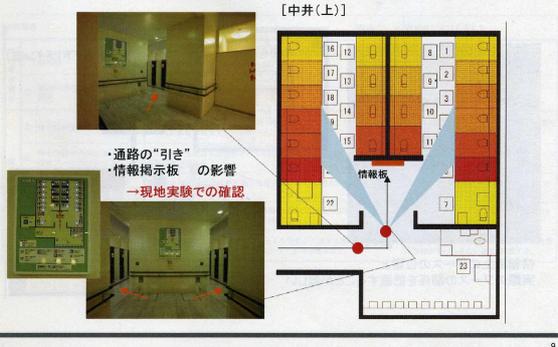
- 湿式清掃から乾式清掃への移行
- 高コスト長期寿命のトイレからローコスト短期改修のトイレに移行
- 繁忙期、平常期を分けたプランニングを行いランニングコストの削減を図る
- S A, P Aが商業施設化するなかでその施設にふさわしいトイレに改修



現地調査

出典: 中日本高速道路㈱調査報告書

<利用率が左右対称の場合>



情報板上のブースの位置と
実際のブースの関係を把握することが難しい



トイレブースが見える方に行きたがる
傾向がある

新東名高速道路清水PAのお手洗い



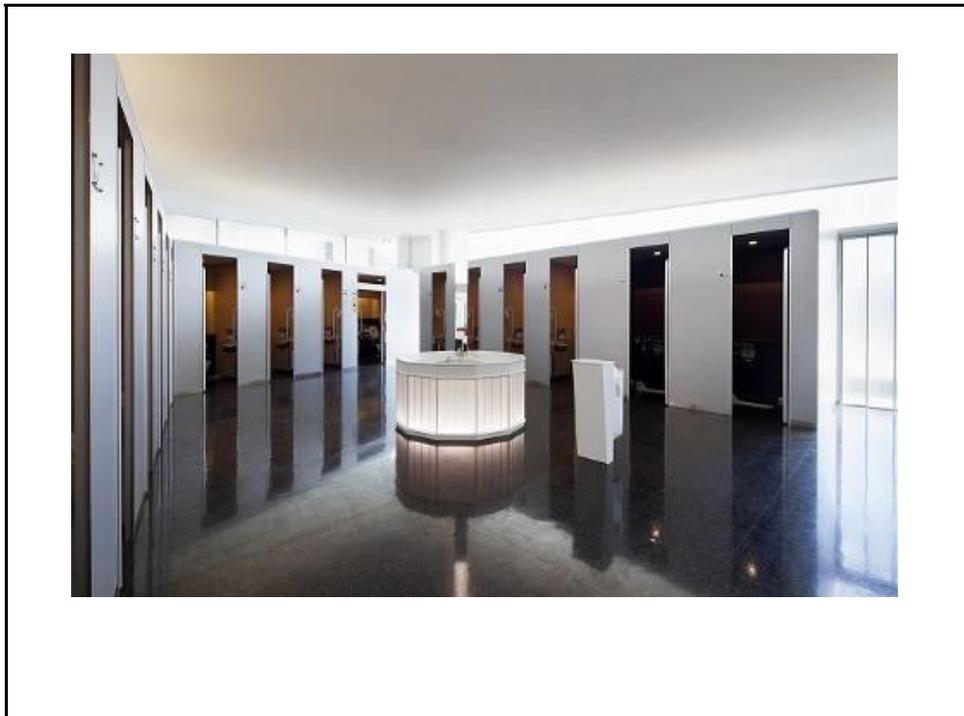
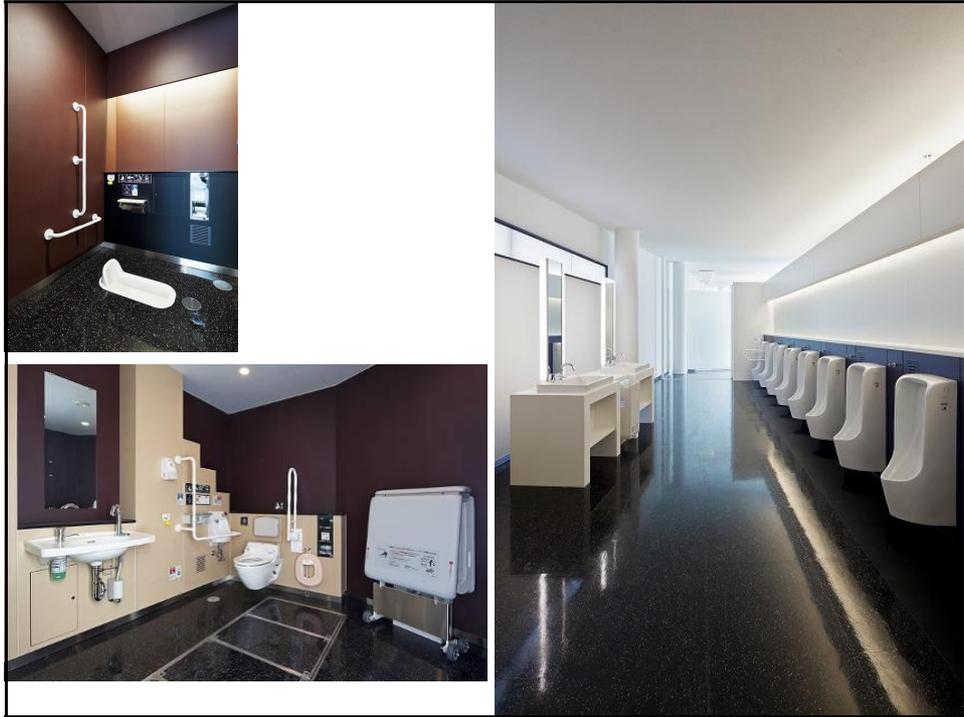


ロビーから中庭を見る



ロビーとファミリートイレ







見附市道の駅 パティオ新潟 全体外観





内観

車で訪れる人々の休憩所としてのトイレ
トイレ入口



女子トイレ



男子トイレ



3) 公衆トイレ

改築や改修はすすんだが、不特定多数の利用でありながら、無人管理のため汚損や犯罪行為もあり、メンテナンスが追いつかない。



ここから学んだこと

トイレの快適さは設計のみではなく、メンテナンスとの協同が欠かせない。

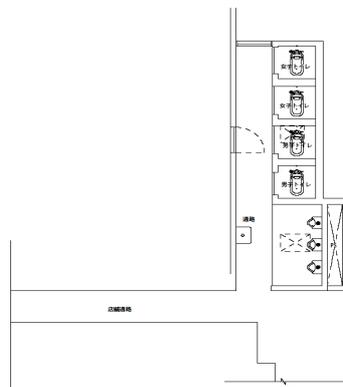
その後のメンテナンスを読み込んでつくること。
メンテナンスの人に設計主旨や内容を理解してもらうこと。

メンテナンスの人の応援者になること。

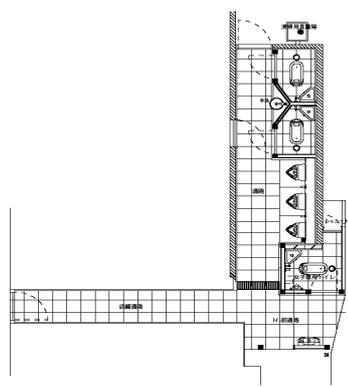
東雲公衆トイレ 安全性を優先して設計 外から見える



新宿西口思い出横丁

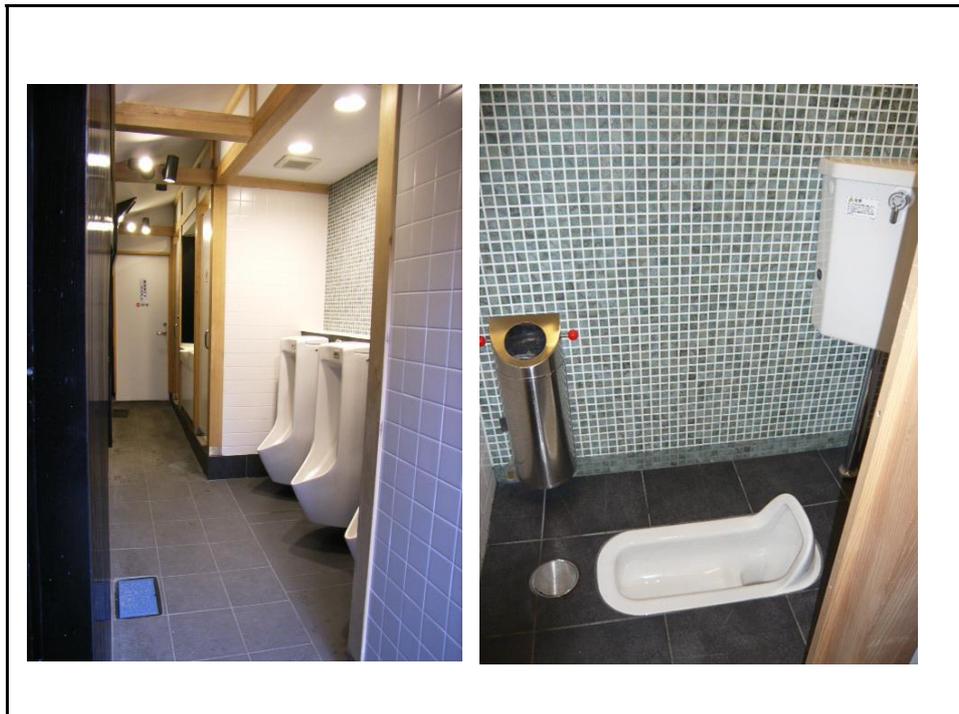


既存平面図



改修平面図





4) 学校

校舎の老朽化等で6K（暗い、こわい、くさい、汚い、窮屈、壊れている）と言われ、トイレを使いたくない子供たちが多く、不健全で深刻な状況。

改修前



学校トイレ改善の動向

求められるもの

1. トイレを学校内での豊かな生活の一部にする
2. もう一つの子どもの居場所
3. 健康で衛生的な生活を支える

課題

1. マナーの未発達な年代
2. 清掃能力不十分
バックアップの必要性
3. 財源不足
軽微な補修であっても、トータルな目を持って環境の整備を図る

トイレに行かない子どもの事情

1. 施設が劣悪

トイレは、水場として痛みやすい場所
6K（暗い、くさい、汚い、怖い、窮屈、壊れている）ともいわれる
男女の区画さえないトイレもある。

2. 他の施設のトイレ環境との落差が大きい
3. 休み時間が短く落ち着いてトイレに行く時間がない
4. 生活のリズムが夜型になっていて、朝、家での排泄の習慣がついていない
5. 排泄は恥ずかしいとの認識がある
6. メンテナンス不良からくる環境劣化

学校トイレ

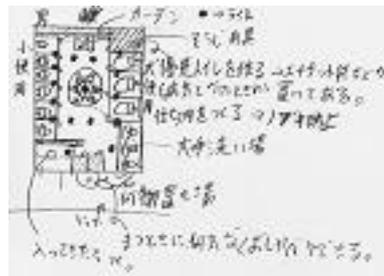
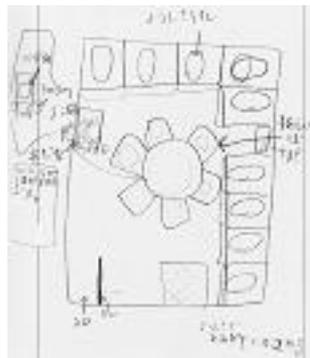
現状写真 2000年ごろ



Y小学校のトイレ現状調査ワークショップ から



子どもの描いた理想のトイレ



広さ高さ調査



明るさ調査

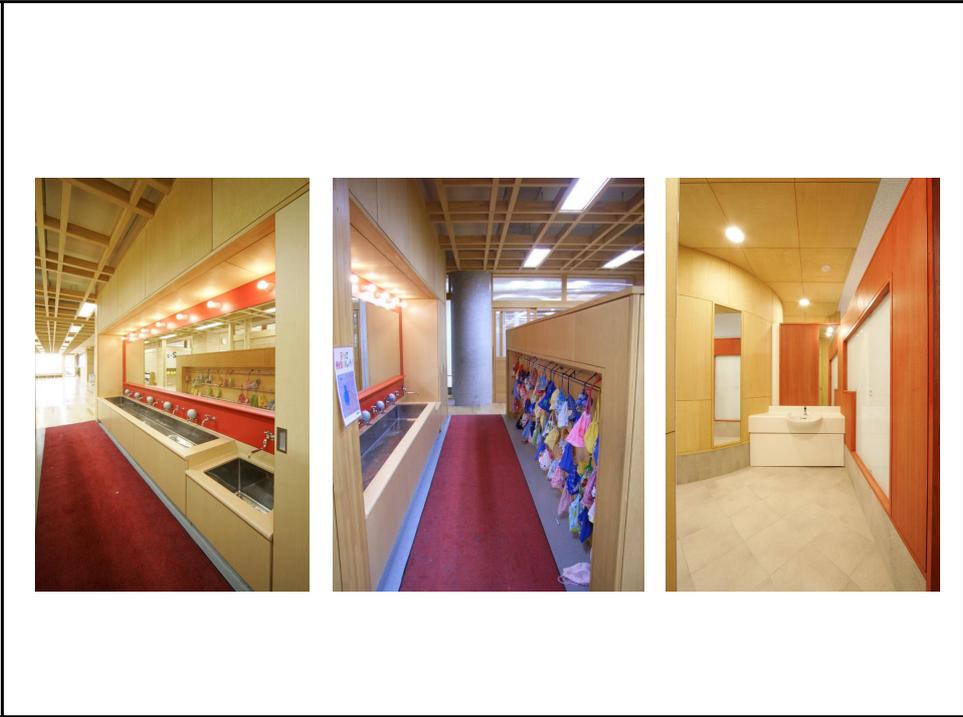


においと汚れの調査



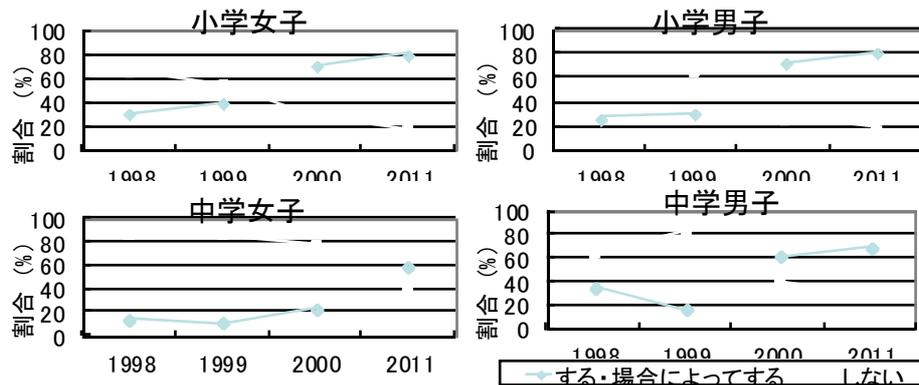
富山県滑川市立西部小学校





学校のトイレ 世田谷区の15年間の改善の取組

13年間にわたる児童生徒のトイレ改修に対する評価の変化
【学校で大便をするか】



学校のトイレ 世田谷区の15年間の改善の取組

【学校で大便をしない理由の変化(小学校)】

人的・心理的理由	<ul style="list-style-type: none"> 出ない(16) したくない(7) できない(4) なんとなく(14) いやだ(7) する気がしない(1) 誰かが流し忘れてる(2) 長時間使えない(1) 時間の無駄(2) 覗かれる(1) 開けられる(1) 他人が入ってくる(1) 待てない(1)
物的理由	<ul style="list-style-type: none"> 虫がいる(2) 鍵が不良(4) 慣れていない(2) 電気がない(1) 臭い(1) ペーパーがない(2)
その他	理由なし(11)

*カッコ内は回答数

表3-10 学校で大便をしない理由(その他の欄への自由記入、2011年)

f. 障害を持った人との格差 ユニバーサルデザイン

京王電鉄京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター
客用トイレの取り組み

検証をして造る

それぞれの方の現状の問題点

視聴覚障害者

- 男子・女子用のトイレの区別が判らない
- 紙巻器、洗浄ボタン・非常ベル等の位置が解からない
- 盲導犬と一緒に入れるトイレだと安心する
- 店員の人が「いらっしゃいませ」と声をかけてくれると、こちらから訊きやすい



脊髄損傷症で車椅子の利用者

- 車椅子が入れ、方向転換のできるトイレ
- 車椅子の高さから見やすい案内表示
- 大人用ベッドは、衣服の脱ぎ着がやりやすく、オムツも替えやすい
- 便座に座らなくても流せる洗浄ボタン



オストメイトの方

- たまった排泄物を捨てた後、パウチ（排泄物をためる袋）を洗いたい
- 排泄物が漏れやすく、衣服や体が汚れる場合があり、体を洗い、服を取り替えたい
- 荷物置き場や着替え台がほしい



弱視の方

- トイレ自体、また男女の別が見つけにくい
- 弱視の人にとってのサインの分かりやすさや物の位置は、バックの色とのコントラストで理解する



その他

- 導尿をしているため、明るいトイレがいい

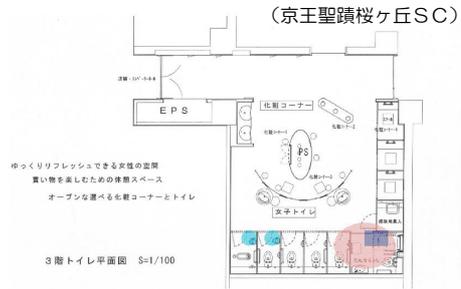
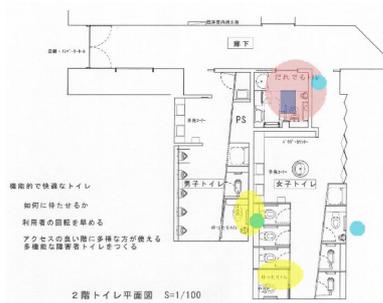
ユニバーサルデザイン会議と竣工後の検証風景



ユニバーサルデザイントイレの配置計画の例

ユニバーサルトイレの配置計画

- 多機能トイレ
- ベビーチェア
- ゆったりトイレ
- 身障者用ベッド
- トイレひろば
- 全ブース手すり付き
小便器各1ヶ所手すり付き



京王聖蹟桜ヶ丘SCのユニバーサルデザイン会議

進め方

- アンケート・ヒアリング
- ↓
- 要望のまとめ
- ↓
- 設計コンセプトづくり
- ↓
- 基本設計
- ↓
- ユニバーサルデザイン会議

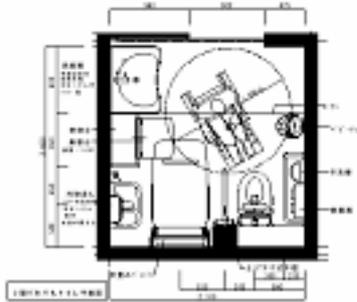
- リニューアル前の施設の見学と現状の問題
- 明るさコトラスト
 - 荷物の置き場所
 - 一階化内のコバ-ル
 - 情報の伝え方

- ユニバーサルデザイン会議
工事途中の見学

- ユニバーサルデザイン会議
リニューアル後

- 完成後の検証
改修後の問題点をさぐる
- 利用のわかりやすさ
 - 洗浄ボタンのわかりやすさ
 - 池

改修後のトイレの一部



内部-1

2. 安全性の確保 有料化・管理者の巡回強化・複合施設化等の検討

1) 千代田区公衆トイレの例 (2003年千代田区調査)

1. 一日の利用者は34ヶ所中、男子4670人 女子149人である。
2. 女子は9ヶ所で0人であった。
3. 利用者は、会社員、タクシードライバー等が多い
4. ホームレスの寝泊り / 男女共用である (一部のトイレ)
悪臭があるとの指摘があった。



千代田区公衆トイレの利用人数



2003年 千代田区これからの公衆トイレに関する 検討委員会の提言内容

1. 公衆トイレの配置

- 500m毎に1ヶ所とする

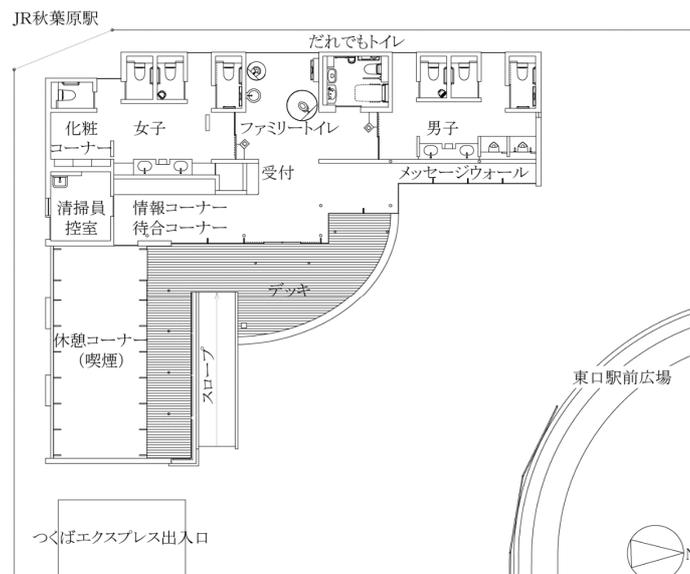
(排泄を我慢できる距離を5分)

- 現在重なって存在し、老朽化しているトイレは廃止とする

2. 公衆トイレの改善、既存トイレの改修を進める

3. 新設トイレは有料化の検討をする

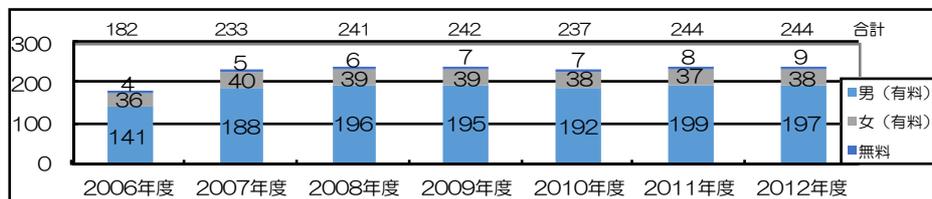
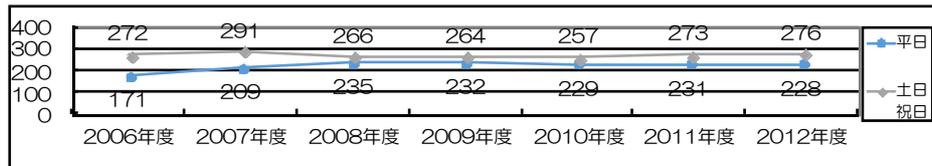
千代田区秋葉原有料トイレ



秋葉原有料トイレの利用実態と評価の変化

【一日平均利用者数】

- 毎年250人前後
- 男女比：女性は各年平均40名程度



秋葉原有料公衆トイレの評価アンケート調査 2006年・2012年比較

- 固定客の増加
- 清潔さ、明るさ、広さ、設備、機能、デザインについて
：大変良い+良い 両年とも全て85%以上と評価が高い
- 常駐管理の評価（清掃）：大変きれい+きれい 約90%
- 利用料金100円：安い+適切 約75%→約70%
- 有料化への考え：賛成+条件付き賛成 約90%→72%

継続調査による課題と評価

<課題>

- 1.公衆トイレの管理方法の限界
- 2.有料トイレの利用者数の少なさ
- 3.有料トイレは、利用者料金ではまかなえない経費

<評価>

- 1.公衆トイレの配置計画の見直し
 - ・廃止トイレ：8ヶ所（全体では11ヶ所）
 - ・改修トイレ：10ヶ所
 - ・建替え：1ヶ所
 - ・有料トイレ：1ヶ所
- 2.有料トイレ固定客(評価する人)が存在
- 3.有料トイレの役割の拡大（災害時の帰宅難民等）



トイレ前案内、情報コーナー



ファミリートイレ



女子トイレ



男子トイレ



個室



2) 案内所に隣接してトイレがある キャナルシティ博多イースト



3) その他

女性をターゲットに化粧品会社とのコラボ
育児支援のための製紙会社とのサンプル提供
コラボ



JR横浜駅「リフレスタ」

トイレ利用者に施設案内の商品PRのための店舗
商品展示およびサンプル提供によるコラボ



JR横浜駅「リフレスタ」

トイレ利用者に施設案内の商品PRのための店舗
商品展示およびサンプル提供によるコラボ



東京メトロ池袋駅「クリュスタ」



京王聖跡桜ヶ丘 SC

4) 複合化の可能性(集客性と安全性と利便性の確保)

例・レコード店・ジュースコーナー付・展示場・サロン・マッサージ
住宅展示場・花屋・化粧・シャワー・育児コーナー・高齢者支援



3. 快適さの持続

清掃の内容、体制、清掃者教育等の強化・・・清掃の施設間格差

		快適さの持続に関わる要素比較					
		①	②	③	④	⑤	⑥
		改修間隔	改修コスト	清掃体制	清掃方法	清掃コスト	改修後の即時のこまめな補修
商業施設	H駅ビル	5年(最小) 20年(最大)	約150万円/坪(改修)	外部委託	日常清掃: 1回/日(30分) 巡回清掃: 7回 定期清掃: 1回/月 特別清掃: 必要に応じて	約12万/月 1ヶ所 (他所事例)	女子社員と清掃者の連携で実現
	学校	世田谷区	27年(最小) 44年(最大)	モデル校 約130万/坪(改修) 1ヶ所 標準校 115万/坪(改修)	用務主事 中学生	日常清掃: (10~15分) 定期清掃(トラフ): 1回/年 特殊清掃(床ワックス): 1回/年	世田谷は用務主事なので薬品代のみ 特殊 32万/年1回
公衆トイレ	千代田区	11年(最小) 43年(近年最大) 85年(過去最大)	150万/坪(新築)	外部委託	日常清掃: 2回/日(10~15分) 定期清掃: 2回/年 特殊清掃なし	10万円/月 (他所事例) 特殊 1回35万/年 2回	対応が遅い
	千代田区	—	約175万/坪(新築)	管理運営者を兼ねる (外部委託)	日常清掃: 1回/日(1時間) 利用直後の清掃 定期清掃1回	150万~170万/月	対応

4. トイレ運営管理者の普及

運営管理者の必要性

「快適さの持続」= 質の向上
のための要となる

